

【症例 2】70 歳台, 男性. 興味ある内視鏡像を呈した食道癌 2 病変

症例提示:長岡赤十字病院 竹内 学

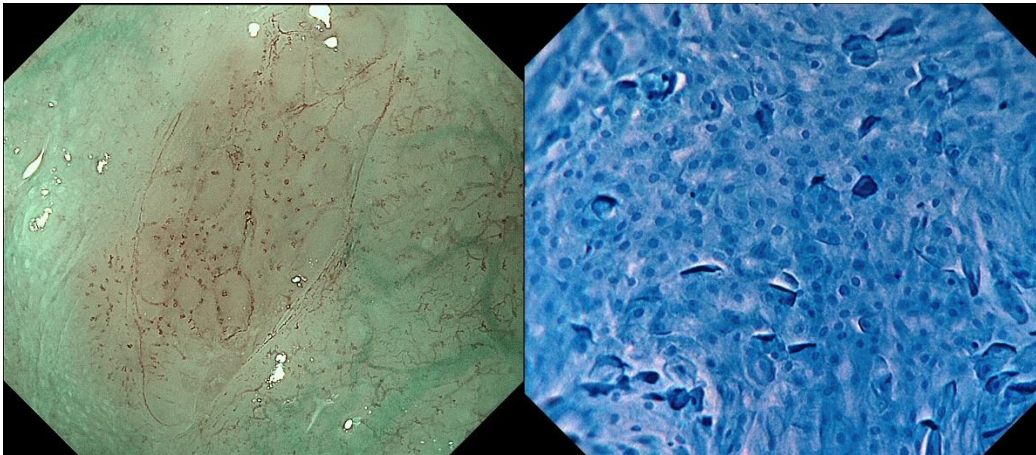
読 影:佐久医療センター 高橋亜紀子先生

病理解説:信州大学 岩谷 舞先生

症例は 70 歳台の男性. 複数の食道癌・咽頭癌 ESD の既往あり. 経過観察目的の上部消化管内視鏡検査で食道に異常を認めた.

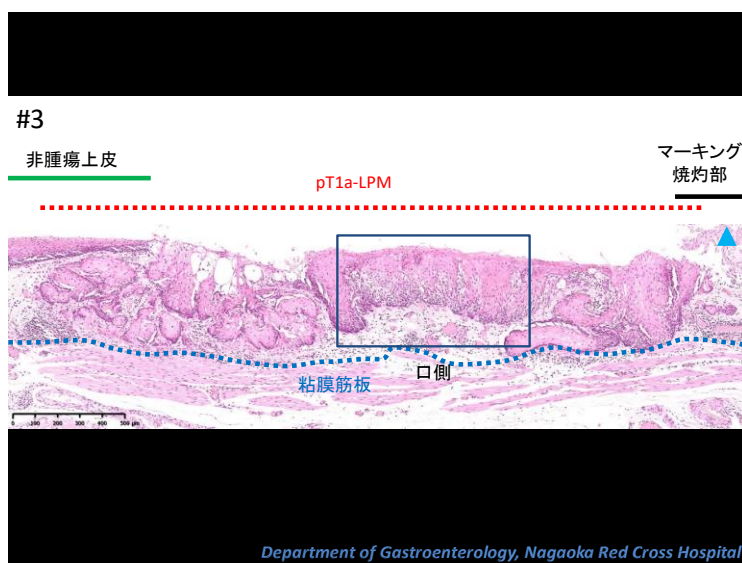
「Lesion A」

通常・NBI 拡大・ヨード染色・ECS 画像:(高橋)非拡大画像では小さな発赤あるいは Brownish area として認識できる平坦病変を認める. NBI 拡大では多くは B1 血管および AVA-s の所見から深達度 LPM までの SCC と診断した. ヨード染色でも不染帯を呈し, ECS では核の腫大や大小不同, 密度の上昇を認め EC 分類 Type3 と判断した. 以上より 0-IIb, SCC, cT1a-LPM と診断した.



病理解説:(竹内)中央部では圧排性増殖を示す INFa 浸潤で, 異型基底細胞が基底側から表層へ向かい増殖している. Ki67 陽性細胞は傍基底層を主体に数層に局限している. p53 陽性細胞は, Ki67 陽性細胞の範囲を越え表層 1/2~2/3 くらいまで分布する. 腫瘍は脚釘状になり, 下方へ圧排性進展している. その脚釘間に血管がみられ深部から表層付近まで伸びている. これが内視鏡像から予想していた組織像であった. しかし肛門側および口側部分では基底細胞様の縁取りがない部分も認め, 表層型の細胞が直接粘膜固有層に接している胞巣を認める. 非腫瘍とする釘脚の延長ではありえない分化異常と考えて, 細胞異型は軽微であるが腫瘍と判断し, 低異型度の超高分化 SCC と診断した. Ki67 陽性細胞は傍基底層に局限, 表層型細胞ではほぼ陰性であり, p53 は Ki67 陽性細胞の範囲を越え表層型細胞にも陽性であっ

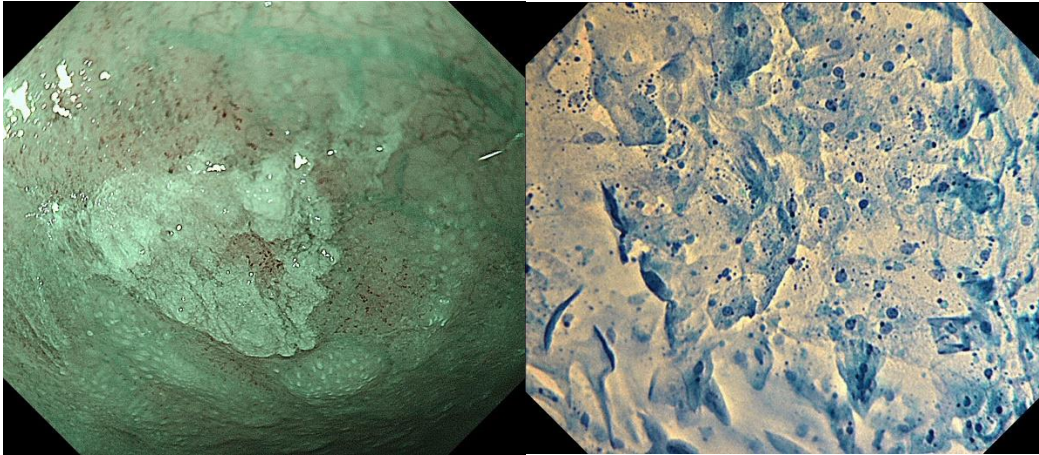
た. CD34 染色では表層に血管はあまり認めなかった. (岩谷)組織像が2つ存在する病変で、特に肛門側では 1-2 層基底細胞様の細胞に縁どられた部分から直接中層程度の細胞に分化している所見であり、極めて稀な組織像であるとのコメントであった. (下田)かなり高分化な SCC であり、表層にも同様の所見を認める. 通常の SCC に比べると核の密度は低いが、正常と比較すると核がやや大きく、表層まで核が不均一に認めることが超高分化な SCC を表している. 核の口側部分では表層の高分化 SCC がそのまま粘膜固有層に浸潤したと考えるが、このような浸潤形式はかなり珍しい.



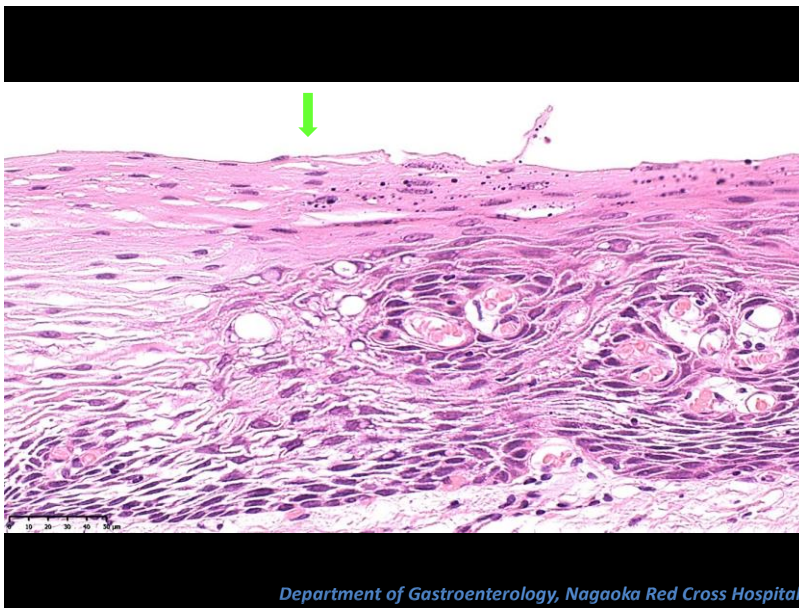
本症例のまとめ: (竹内)本症例では NBI 拡大画での口側や肛門側の血管が視認しにくい領域が、超高分化 SCC の部位に相当していた.

「Lesion B」

通常・NBI 拡大・ヨード染色・ECS 画像: (高橋)白色調の辺縁に淡い発赤域を伴う病変として認識される. NBI 非拡大でも白色領域辺縁に Brownish area を認める. NBI 拡大では辺縁部に B1 血管, 白色部は血管認識困難で表層は角化あるいは錯角化と考える. 診断は角化・錯角化を伴う SCC で深達度は cT1a-LPM までと診断. ECS では白色部は角化の影響で表層は剥離状態. 最表層には黒い小さな点状所見を認め、炎症細胞と考える. また点状所見よりやや深い部分に腫大し大小不同を呈する密度の高い核を認め、EC 分類 Type3 と判断することより表層には炎症細胞浸潤を認め、その下に SCC が存在すると診断した. (熊谷)ECS で上皮が浮遊している部分は角化を反映している. また高橋先生の Type3 と判断し部分に関しては癌と言えるほどの核密度の高さではないことより Type2と考える. 点状所見に関しては炎症細胞にしては小さすぎるとコメントした.



病理解説:(竹内)内視鏡像で発赤調と Brownish area を呈した部分は基底層から異型細胞が表層へ向かい, 密に増生しており上皮内癌であった. 上皮内癌部の表層に角化はないが, ケラトヒアリン顆粒を認めた. 中央部の白色部では LPM 浸潤の SCC であった. 表層に角化を認め, 非常に小さいがこの部分にもケラトヒアリン顆粒を認め, いわゆる Epidermization の所見であった.



Department of Gastroenterology, Nagaoka Red Cross Hospital

本症例のまとめ:(竹内)本症例では ECS での点状所見が病理組織学的に何を反映しているかがポイントであったが, 表層に存在するケラトヒアリン顆粒であることが判明した.